

最近の雇用情勢について

(令和2年8月)

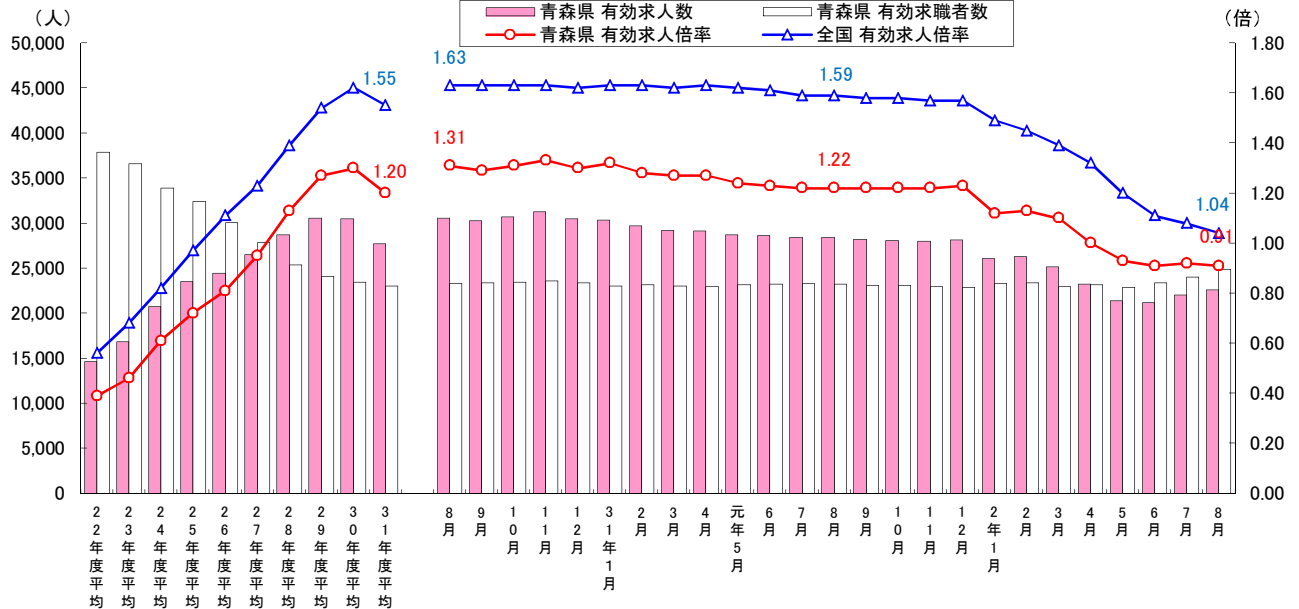
青森労働局

職業安定部

I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

8月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数（季節調整値）は前月に比べ2.8%増加し22,602人、有効求職者数（同）は3.6%増加し24,847人で、有効求人倍率（同）は0.91倍となり、前月を0.01ポイント下回った。
 就業地別の有効求人倍率（季節調整値）は0.99倍で前月に比べ0.01ポイント下回り、受理地別の倍率を0.08ポイント上回った。

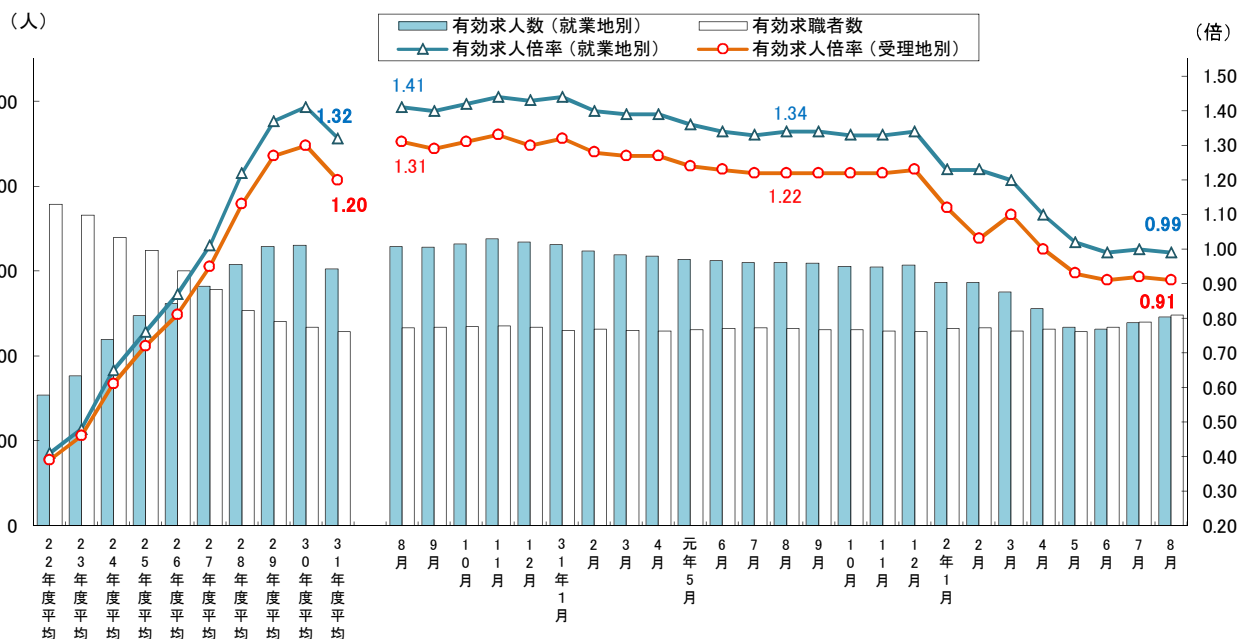
受理地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



全国のハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
 季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。
 就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

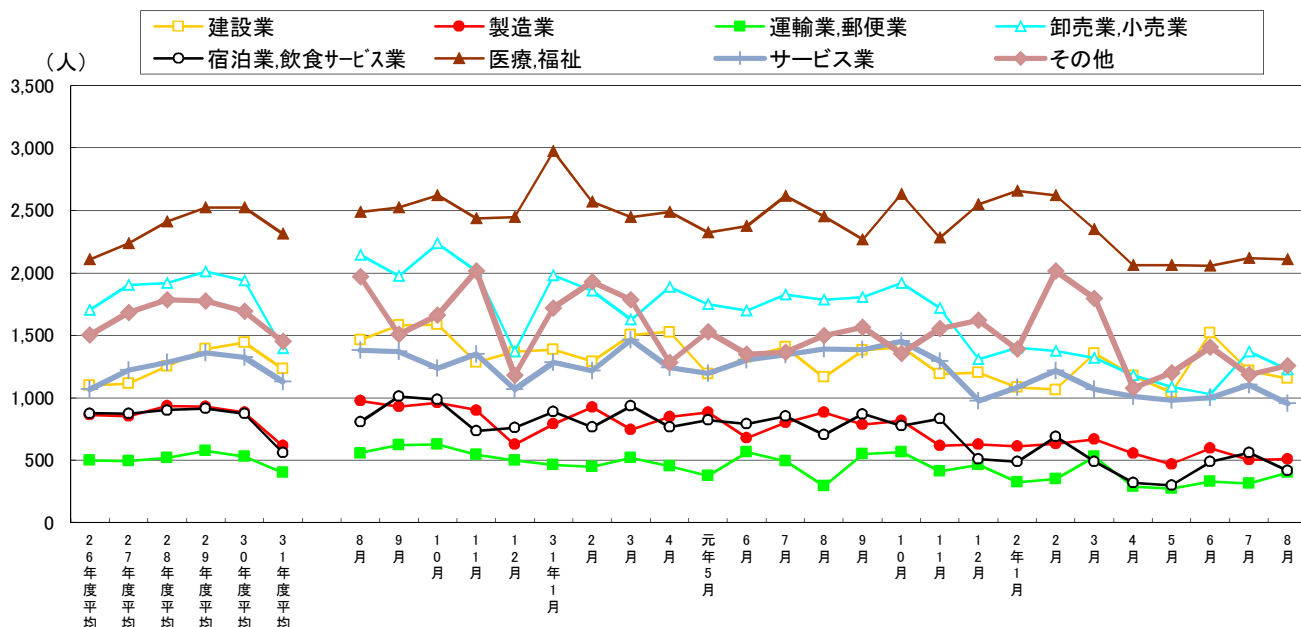
(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和元年12月以前の数値は、令和2年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

8月の新規求人数(原数値)は前年同月比21.1%(2,146人)減少の8,011人。

主要な産業の新規求人数(原数値)をみると、建設業、製造業、卸売、小売業、医療、福祉、サービス業等で減少した。

製造業では、木材・木製品製造業(家具を除く)・家具・装備品製造業、印刷・同関連業で増加したが、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、パルプ・紙・紙加工品製造業、化学工業、石油製品・石炭製品製造業関係、プラスチック、ゴム製品製造業、窯業・土石製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、はん用・生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、その他の製造業で減少した。



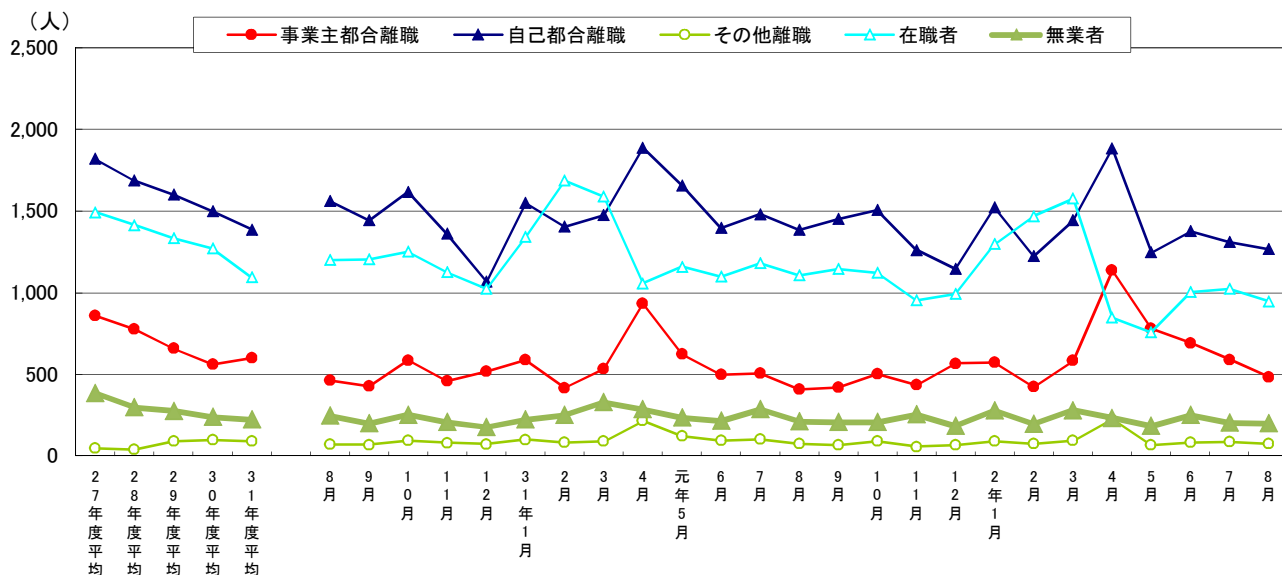
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農林漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業,保険業」「不動産,物品賃貸業」「学術研究,専門・技術サービス業」「生活関連サービス業,娯楽業」「教育,学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

III 新規求職の状況(パートを除く常用)

8月の新規求職者数(原数値)は、前年同月比6.7%(213人)減少の2,968人。

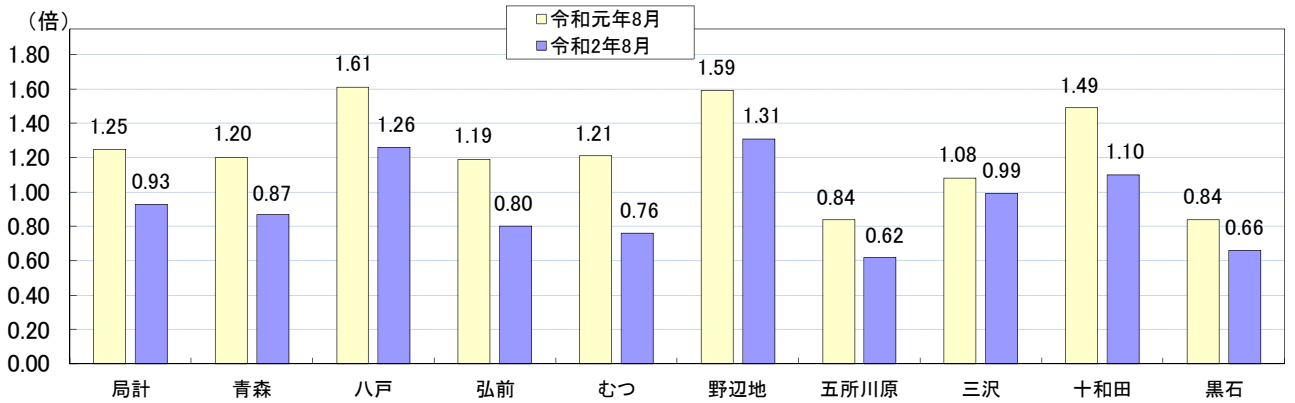
在職区別に前年同月と比較すると、在職者は▲14.3%(▲158人)、無業者は▲6.1%(▲13人)、離職者は▲2.3%(▲42人)とすべての区分で減少となった。

離職理由別では、事業主都合離職は前年同月比18.7%(76人)増加、自己都合離職は同8.5%(118人)の減少となった。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

8月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.93倍となり、前年同月より0.32ポイント低下した。各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



R2.8	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	23,754	5,616	5,232	4,870	1,245	789	2,207	1,295	1,075	1,425
有効求人数	22,150	4,896	6,572	3,920	945	1,037	1,369	1,288	1,180	943

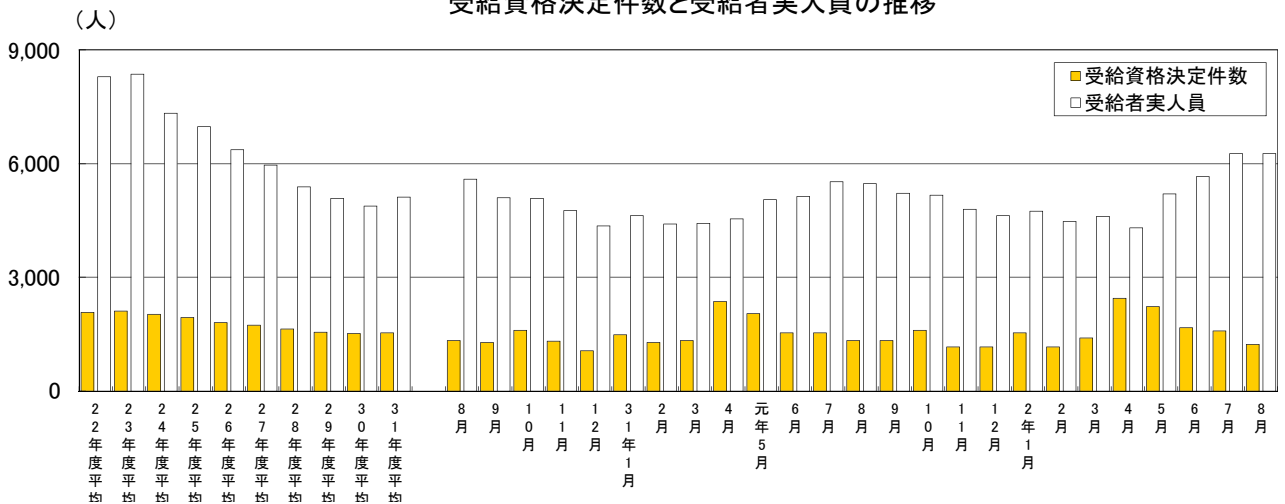
(単位:人)

V 雇用保険の状況

8月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比14.3%(785人)増加、前月比では0.1%(4人)減少の6,262人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比7.5%(100件)減少、前月よりも22.0%(349件)減少し1,235件となった。※受給資格決定件数は、速報値であり修正する可能性もあり得ること。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比1.9%(3人)減少、前月比33.5%(77人)減少し153人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



(人)

事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

